



平成28年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年6月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トップカルチャー

コード番号 7640 URL <http://www.topculture.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清水 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 遠海 武則

TEL 025-232-0008

四半期報告書提出予定日 平成28年6月13日

配当支払開始予定日

平成28年7月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年10月期第2四半期の連結業績(平成27年11月1日～平成28年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年10月期第2四半期	17,035	△2.4	518	0.4	491	1.7	296	22.1
27年10月期第2四半期	17,459	△3.1	516	20.8	483	21.5	243	4.0

(注) 包括利益 28年10月期第2四半期 278百万円 (12.3%) 27年10月期第2四半期 247百万円 (5.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年10月期第2四半期	24.57	24.52
27年10月期第2四半期	20.16	20.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年10月期第2四半期	28,041	7,234	25.7	596.00
27年10月期	27,833	7,047	25.2	580.50

(参考) 自己資本 28年10月期第2四半期 7,202百万円 27年10月期 7,015百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年10月期	—	7.50	—	7.50	15.00
28年10月期	—	7.50	—	—	—
28年10月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年10月期の連結業績予想(平成27年11月1日～平成28年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,700	4.5	870	6.6	810	7.8	440	12.6	36.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年10月期2Q	12,688,000 株	27年10月期	12,688,000 株
② 期末自己株式数	28年10月期2Q	603,482 株	27年10月期	603,482 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年10月期2Q	12,084,518 株	27年10月期2Q	12,064,198 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
4. 補足情報	13
(1) 生産、受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の先行きに対する不透明感が増す展開となりました。日銀のマイナス金利政策でも円高圧力の是正には到らず、輸出企業の業績不安により株式市場も低迷しました。また、実質消費支出が減少する中で消費者物価指数もマイナス水準で推移しており、消費環境にも好材料が乏しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループでは店舗へご来店いただくことの価値を高めるために、時間消費型・滞在型の店舗づくりを進めてまいりました。当社の大型複合店舗は、3,000㎡級の広い売り場面積に、書籍に映画、音楽、ゲーム、カフェといった「日常的エンターテインメント」を集約し、眺めるだけでも楽しく、再来店したくなる売場作りを目指しております。さらに、書籍をきっかけとした新たなライフスタイルづくりをお手伝いする、さまざまなカテゴリーの商品を取り揃え、広い世代のお客様にお買物を楽しんでいただくためのご提案を続けてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高17,035百万円（前年同期比97.6%）、営業利益518百万円（前年同期比100.4%）、経常利益491百万円（前年同期比101.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益296百万円（前年同期比122.1%）となりました。

売上・利益の増減要因

売上面につきましては、当社グループの軸である蔦屋書店事業において、書籍の売上は好調に推移しましたが、それ以外の部門の売上高は前年を上回ることが出来ず、蔦屋書店事業全体の売上高前年同期比は97.6%（既存店97.1%）にとどまりました。

利益面につきましては、連結売上総利益率が前年同期比0.2ポイント低下しましたが、販管費率の改善で補った結果、営業利益は前年同期比0.4%増加し518百万円に、経常利益は前年同期比1.7%増加し491百万円に、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比22.1%増加して296百万円となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

①蔦屋書店事業

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高16,601百万円（前年同期比97.6%）、セグメント利益は470百万円（前年同期比97.4%）となりました。

主力商品の売上高前年同期比は、書籍102.7%（既存店101.8%）、文具・特撰雑貨97.0%（既存店96.0%）、レンタル98.6%（既存店99.1%）、販売用CD72.9%（既存店72.7%）、販売用DVD83.9%（既存店84.0%）となりました。書籍の販売は好調でしたが、昨年大型タイトルの恩恵に浴したCD・DVDの販売が苦戦し、文具並びにレンタルの売上高も前年の水準に達しませんでした。

②その他

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高436百万円（前年同期比96.7%）、セグメント損益は3百万円の損失となりました。

中古買取販売事業の売上高は、前年同期比91.4%となりました。中古書籍売上高は前年同期比85.8%、ゲーム新品の売上高は前年同期比91.6%、ゲーム中古の売上高は前年同期比93.0%と全体的に苦戦の傾向が見られました。ただし、利益面では販売管理費の抑制が奏功し、黒字を維持しております。

一方、スポーツ関連事業の売上高は、前年同期比113.2%となりました。また前期4月に開園した保育園運営収入が伸ばしたほか、イベント売上高なども前年を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末比207百万円増加し、28,041百万円となりましたが、当第2四半期連結累計期間においては、期末日が金融機関休業日であったことにより、2,031百万円の支払いが翌営業日に繰り越され、現預金及び総資産が一時的に増加しております。また前連結会計年度末においても同様で、期末日が金融機関休業日であったために、1,906百万円の支払いが当第2四半期連結累計期間内に繰り越されております。これらを勘案した総資産は、前連結会計年度末比82百万円増加し、26,009百万円となり、これは主に現預金が1,109万円増加した一方、商品が660百万円、有形固定資産合計が85百万円、敷金及び保証金が65百万円、繰延税金資産が60百万円、それぞれ減少した結果であります。

負債につきましては、前連結会計年度末比19百万円増加し、20,806百万円となりました。これは総資産と同様、期末最終日が金融機関休業日であったために、買掛金の支払いが1,808百万円、未払金の支払いが149百万円、借入金の返済が71百万円、それぞれ翌営業日に繰り越されております。また前連結会計年度末においても、期末日が金融機関休業日であったために、買掛金の支払いが1,506百万円、未払金の支払いが339百万円、借入金の返済が59百万円、それぞれ当第2四半期連結累計期間内に繰り越されております。これらを勘案した負債合計は、前連結会計年度末比104百万円減少し、18,777百万円となりました。これは主に1年内返済予定を含む長期借入金が168百万円増加した一方、買掛金が72百万円、リース債務が44百万円、未払法人税等が122百万円、それぞれ減少した結果であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比187百万円増加し、7,234百万円となりました。これは主に、利益剰余金が206百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ1,233百万円増加し、4,636百万円となりました。

ただし、当第2四半期連結累計期間においては、前連結会計年度及び当第2四半期連結累計期間のそれぞれの期末日が金融機関休業日であることの影響を受けており、前連結会計年度からは1,906百万円が当連結会計年度に、当第2四半期連結累計期間の期末日においては2,031百万円の支払いが翌営業日に繰越されております。

これらを勘案した当第2四半期連結累計期間末における資金は、前連結会計年度末と比べ1,109百万円増加し、2,605百万円となります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は1,782百万円（前年同期比906百万円資金増）となりました。

上記に記載した金融機関休業日の影響を勘案すると、獲得した資金は1,555百万円（前年同期比676百万円資金増）となり、これは主に前年同期と比べ、償却費が214百万円、未払消費税等が141百万円、それぞれ増加したこと、及び、たな卸資産が938百万円減少したことにより獲得した資金が増加した一方で、仕入債務が470百万円減少したこと、及び法人税等の支払額が238百万円増加したことにより資金が減少したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は50百万円（前年同期比248百万円資金増）となりました。

これにつきましても、上記に記載した金融機関休業日の影響を勘案すると、投資活動の結果獲得した資金は62百万円（前年同期比362百万円資金増）となり、これは主に前年同期と比べ、有形固定資産の取得による支出が300百万円減少し、投資有価証券の償還による収入が100百万円増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は497百万円（前年同期比1,224百万円資金減）となりました。

これにつきましても、上記に記載した金融機関休業日の影響を勘案すると、財務活動の結果支出した資金は509百万円（前年同期比1,236百万円資金減）となり、これは主に前年同期と比べ、短期借入金が804百万円、長期借入れによる収入が100百万円、それぞれ減少した一方で、長期借入金の返済による支出が111百万円、リース債務の返済による支出が197百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績が概ね計画通り推移していることから、平成27年12月4日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更等)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,412,947	4,646,755
売掛金	210,700	222,666
商品	9,039,469	8,379,147
前払費用	306,296	300,504
繰延税金資産	57,396	45,394
未収入金	309,322	296,880
その他	34,319	30,047
貸倒引当金	△403	△408
流動資産合計	13,370,048	13,920,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,833,139	2,719,831
土地	1,583,602	1,583,602
リース資産(純額)	4,896,664	4,922,205
その他(純額)	186,395	188,827
有形固定資産合計	9,499,802	9,414,467
無形固定資産		
その他	49,052	61,509
無形固定資産合計	49,052	61,509
投資その他の資産		
繰延税金資産	474,662	426,314
敷金及び保証金	3,560,604	3,494,767
その他	879,574	723,201
投資その他の資産合計	4,914,841	4,644,284
固定資産合計	14,463,695	14,120,261
資産合計	27,833,744	28,041,248

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,983,394	5,213,374
短期借入金	1,550,000	1,550,000
1年内返済予定の長期借入金	1,672,458	1,632,597
リース債務	1,077,466	1,180,665
未払法人税等	298,965	176,884
賞与引当金	60,000	62,000
未払金	840,136	665,903
その他	402,301	378,495
流動負債合計	10,884,722	10,859,920
固定負債		
長期借入金	4,849,155	5,069,044
リース債務	4,214,014	4,066,352
資産除去債務	473,746	477,649
退職給付に係る負債	86,337	81,497
役員退職慰労引当金	62,941	62,941
長期末払金	102,093	96,458
長期預り敷金保証金	111,934	91,100
その他	1,632	1,308
固定負債合計	9,901,855	9,946,351
負債合計	20,786,578	20,806,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,007,370	2,007,370
資本剰余金	2,303,691	2,303,691
利益剰余金	2,980,597	3,186,901
自己株式	△270,028	△270,028
株主資本合計	7,021,629	7,227,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,593	△25,552
その他の包括利益累計額合計	△6,593	△25,552
新株予約権	8,249	8,249
非支配株主持分	23,880	24,345
純資産合計	7,047,166	7,234,976
負債純資産合計	27,833,744	28,041,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)
売上高	17,459,586	17,035,745
売上原価	11,666,345	11,423,581
売上総利益	5,793,241	5,612,164
販売費及び一般管理費	5,276,614	5,093,705
営業利益	516,626	518,458
営業外収益		
受取利息	15,901	14,822
その他	36,705	43,684
営業外収益合計	52,607	58,506
営業外費用		
支払利息	85,835	85,401
営業外費用合計	85,835	85,401
経常利益	483,397	491,563
特別利益		
新株予約権戻入益	3,632	-
特別利益合計	3,632	-
税金等調整前四半期純利益	487,029	491,563
法人税、住民税及び事業税	198,827	125,729
法人税等調整額	44,035	68,430
法人税等合計	242,862	194,160
四半期純利益	244,166	297,403
非支配株主に帰属する四半期純利益	967	465
親会社株主に帰属する四半期純利益	243,199	296,937

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)
四半期純利益	244,166	297,403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,789	△18,959
その他の包括利益合計	3,789	△18,959
四半期包括利益	247,956	278,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	246,988	277,978
非支配株主に係る四半期包括利益	967	465

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	487,029	491,563
減価償却費	468,056	682,270
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	5
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,000	2,000
新株予約権戻入益	△3,632	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7,116	△4,840
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5,337	—
受取利息及び受取配当金	△15,914	△14,837
支払利息	85,835	85,401
売上債権の増減額(△は増加)	△24,097	△11,966
たな卸資産の増減額(△は増加)	△277,928	660,322
仕入債務の増減額(△は減少)	397,902	229,980
未払消費税等の増減額(△は減少)	△72,606	69,015
長期前払費用の増減額(△は増加)	△8,499	17,851
その他	△33,701	△64,243
小計	998,983	2,142,522
利息及び配当金の受取額	2,495	2,889
利息の支払額	△86,442	△85,234
法人税等の支払額	△39,643	△277,810
営業活動によるキャッシュ・フロー	875,393	1,782,366
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△405,166	△218,181
無形固定資産の取得による支出	—	△14,800
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
敷金及び保証金の回収による収入	169,134	128,396
敷金及び保証金の差入による支出	△69,210	△50,610
その他	5,363	4,272
投資活動によるキャッシュ・フロー	△299,878	△50,923
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	804,250	—
長期借入れによる収入	1,100,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△720,782	△819,972
ストックオプションの行使による収入	22,837	—
リース債務の返済による支出	△388,988	△586,136
割賦債務の返済による支出	△104	△838
配当金の支払額	△90,324	△90,688
その他	△18	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	726,868	△497,635
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,302,383	1,233,807
現金及び現金同等物の期首残高	627,075	3,402,947
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,929,459	4,636,755

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(法人税等の税率変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月29日に国会で成立し、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、当社及び国内連結子会社の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成28年11月1日に開始する連結会計年度及び平成29年11月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については30.69%に、平成30年11月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については、30.46%となります。

この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は22,255千円減少し、法人税等調整額が21,667千円、その他有価証券評価差額金が587千円、それぞれ増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年11月1日至平成27年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	17,012,027	447,559	17,459,586	—	17,459,586
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,657	3,657	△3,657	—
計	17,012,027	451,216	17,463,244	△3,657	17,459,586
セグメント利益又は損失(△)	483,207	△7,212	475,995	40,631	516,626

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年11月1日至平成28年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	16,601,484	434,261	17,035,745	—	17,035,745
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,910	1,910	△1,910	—
計	16,601,484	436,171	17,037,655	△1,910	17,035,745
セグメント利益又は損失(△)	470,842	△3,371	467,471	50,987	518,458

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

商品別販売状況

区 分		前第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)		前年同期比 (%)
		売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	
蔦屋書店事業	書籍	8,566,468	49.1	8,796,233	51.7	102.7
	レンタル	2,636,519	15.1	2,600,315	15.3	98.6
	文具・特撰雑貨	2,085,999	11.9	2,024,246	11.9	97.0
	販売用CD	1,241,509	7.1	904,962	5.3	72.9
	販売用DVD	731,056	4.2	613,440	3.6	83.9
	ゲーム・リサイクル	917,593	5.3	805,975	4.7	87.8
	その他	832,880	4.8	856,310	5.0	102.8
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,012,027	97.5	16,601,484	97.5	97.6	
その他	外部顧客に対する売上高	447,559	2.5	434,261	2.5	97.0
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,657	0.0	1,910	0.0	52.2
	計	451,216	2.5	436,171	2.5	96.7
合計		17,463,244	100.0	17,037,655	100.0	97.6

(注) 1 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2 セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

3 蔦屋書店事業の「その他」は、図書カード、賃貸不動産収入他であります。

4 前第2四半期連結累計期間まで、蔦屋書店事業の「文具」と「その他」に含めて計上しておりました電化製品、ブランクメディア等の売上については、第1四半期連結会計期間より「文具・特撰雑貨」として合算して計上することといたしました。なお、これに合わせて前第2四半期連結累計期間の売上高を組み直しております。

5 前第2四半期連結累計期間まで、蔦屋書店事業の「ゲーム」と「リサイクル」の区分にて計上しておりました売上については、第1四半期連結会計期間より「ゲーム・リサイクル」として合算して計上することといたしました。なお、これに合わせて前第2四半期連結累計期間の売上高を組み直しております。